

近赤外分析計

【メーカー】 日本ビュッヒ(株)

【型番】 NIRFlex N-500

【設置場所】 理工学部8号館2階206

【仕様】

- ・測定範囲：800～2500nm(デフォルト1000～2500nm)
12,500～4,000 cm^{-1} (デフォルト10,000～4,000 cm^{-1})
(測定モジュール用に別段の指定がない場合)
- ・分解能：8 cm^{-1} (ボックスカーアポダイゼーション)
- ・干渉計：TeO₂偏光干渉計
- ・波数制度：±0.2 cm^{-1}
(周囲温度25°C±5°C、HFガスモジュールで測定)
- ・S/N比：10000



機器説明

近赤外分析(NIR)は、多成分分析が可能な、短時間で行える非破壊的分析手法であり、危険な化学物質、溶媒、試薬を使用するサンプル前処理の必要が無い、試薬不要の測定法です。

物質特定および定性分析(定量分析を行うための前提条件)は、サンプルのスペクトルを既知の物質の基準スペクトルと比較することで行えます。

定量分析は、多変量解析(ケモメトリックス)を用いて行います。